

令和6年度 沖縄県立 読谷高等学校 自己評価(PDCAシート)												
学校経営目標		①危機管理の徹底と安心安全な教育・職場環境の整備充実 ②校訓「誠実勤勉・融和協力・進取剛健」の体現に向けた生徒の育成 ③働き方改革の推進及び職員の資質・能力の向上 ④学校事務の適正な管理運営及び学校施設の充実 ⑤生徒・保護者・地域からの更なる信頼の向上										
昨年度の成果と課題		今年度重点目標		具体的方策								
【成果】 ・ICT機器を活用した授業改善を推進することができた。 【課題】 ・PTA本来の意義の確認。家庭・学校・社会が対等な関係性を保ちながらの運営の効率化、事業の精選等。 ・学業と両立するための部の活動の在り方。		【学校経営】 PTAや地域との連携を密にしなが ら、教育の充実推進を図り、課題解決等へ迅速に対応する。	①全職員による安心・安全な教育環境及び職場環境整備の推進 ③「報・連・相」の徹底と課題解決への迅速対応 ⑤PTA・同窓会・近隣校との連携強化			②各部の主任等を中心に「チーム」で取組強化 ④適正な学校予算の執行管理 ⑥HPを活用した学校情報の発信力強化						
		【学校教育の管理】 各種行事の見直し図りながら、生徒の自主自律の精神を育成する。	①誠実勤勉(目標に向かい真剣に取り組む)・進路意識の向上による早期進路の進路決定 ・基本的生活習慣の確立と学習習慣の定着 ②融和協力(心打ち解け合い、支え合う)・行事等を通してコミュニケーション力の育成 ・環境美化を推進し、学習環境の整備・充実 ③進取剛健(「心・技・体」を鍛える)・主体的に活動し、心身ともに健康の保持増進									
		【職員の育成】 業務等の見直しや改善を図り、全職員の共通理解のもと、風通しのよい職場環境を醸成する。	①服務研修を定期的に開催し、服務規律の徹底 ③管理者との報連相の徹底 ④学力向上推進指定研究の充実推進 ⑤部活動活性化指定研究2年目の推進			②働き方改革の推進・心理的安全性の高い人間関係の構築 ・資質・能力や専門性を高める研修の実施 ・行事等の見直し・改善による業務改善の推進						
部・学年	具体的目標		具体的方策				教職員	生徒	保護者	評価	総合	令和7年度改善案
教務部	本校の教育目標、教育方針に沿った教育活動が円滑に行われるよう全職員の共通の理解と協力体制の確立を目指す。		年間行事の適正化を図り、授業時間の確保に努める。				A	A	A	A	A	教育課程委員会を中心に、教育課程や観点別評価についての研究に努めたい。 また、地域や保護者に対して今後も情報発信に努めるとともに、PTA総会の実施方法等についても工夫していきたい。
			各部、各教科との連絡調整に努める。				A			A		
			地域、保護者との連携を密にする。				A		B	B		
			校務に係る情報の利便性を考慮し、諸公簿・書類などの整理保管に努める。				A			A		
			教育課程・観点別評価の研究に努める。				B	A	B	B		
生徒指導部	(1)基本的生活習慣の確立 (2)安全指導 (3)集団活動の規律化		3つのマナーアップで服装容儀を正し、礼節を守り、時間や約束を守り自主的、自立的に行動できるように支援を行う。				A	A	A	A	A	交通安全に関するニュース(事故・事件)等を交通安全便りやteamsなどを通して根気強く注意喚起を行っていく。また、Classiを活用して保護者にも情報共有を行っていく。
			危機管理意識の向上の指導を行い、事件事故に巻き込まれない為に予防教育・注意喚起を行う。				A	A	B	A		
			交通安全指導を行い、事件・事故の被害者や加害者にならないように危険回避能力の向上を図る。									
			生徒の自治能力を養成し、その自主的、積極的活動により、学校内外における生活態度の向上を図る。				A	A	A	A		
進路指導部	生徒の実態を把握し、個々の能力の向上を図るとともに適性に応じた進路選択が自主的にできるように指導する。		将来の進路目標を明確化させ、実現に向け計画的学習習慣の定着を図る。				A	A	B	A	A	進路講演会やガイダンス等、生徒の進路意識及び学習意欲向上に向けた取り組みを、学年団と連携しながらより良いものにしていく。また実力テスト、模試等の事前事後学習や教科課題など、ICT活用を推進しながら生徒の学習習慣の定着を図っていく。
			目標達成に資するため、情報を収集し資料を提供する。				A	A	A	A		
			HR担任との連携を深め、HRIにおける進路指導を充実させ学習意欲の高揚に努める。				A	A	B	A		
図書・視聴覚・情報部	図書館、視聴覚機器、情報環境を整備し、生徒の学習支援および職員の校務支援に努める。		図書館資料の充実と活用を推進し、各教科と連携を密にし、図書館利用による学習活動の充実を図る。				A	A	B	A	A	図書館資料の充実と活用や視聴覚機器等の整備に努める。時折、視聴覚教室や体育館放送室の機器の所在が不明になるので、機器の管理(貸与・借用)を徹底していきたい。 ICT機器の職員、生徒の支援に努め、また学校ホームページの作成で学校PRに寄与する。教育用コンピュータ(コンピュータ室1&2,CALL教室)の回線速度が致命的に遅い。これも県へ要望し改善していきたい。
			視聴覚機器、放送施設の整備・充実を推進し、視聴覚教室の利用を促進する。				A	A	B	A		
			ICT機器使用における職員・生徒の支援に努める。				A			A		
			学校ホームページを公開することにより本校をPRする。				A	A	B	A		

学校関係者評価	
A	
A:適切である B:概ね適切である C:やや適切である D:不適切である	
評価	評議員からの意見
A	・地域や保護者との連携を密にし、生徒がのびのび学び活動できる学校、先生が余裕を持ち元氣よく働ける学校を目指してほしい。 ・地域保護者との連携、情報発信が大事。
A	・生徒達は全体的に身だしなみマナーも良く校内も活気があり、教育環境は申し分ない。
A	・進学面に関する講演会、学校紹介等を通して多くの情報を提供し、生徒達の目標設定、学習意欲の向上に努めてほしい。 ・進学意欲を向上させる学校全体の雰囲気作り。
A	・図書室等の学校施設を大いに利用・活用し学習活動に役立ててほしい。 ・地域の情報センターである「ゆんらぼ未来館」の活用も併せてお願いしたい。

美化・保健部	学校生活が健康で安全に営めるよう、生徒・職員の健康の保持増進と、学校教育が円滑に進められるように学習環境の整備に努める。	施設設備の整備・充実を図り、環境美化の保持増進に努め、花と緑に囲まれた学校づくりを目指す。	A	A	A	A	A	令和6年度は教育相談便りを学校HPに掲載し保護者にも情報共有を図ったが、HPでは周知が不十分だと考えられるので令和7年度はClassiを活用した情報共有にも取り組んでいきたい。 救急処置後の受診指導や保護者への協力依頼を丁寧に行い、再発防止や学校保険の対応を速やかに行う。	A	・校内の緑化・美化面も十分気配りされており、大変恵まれた学習環境にあると思う。
		学校保健活動の活性化を図り、健康安全に対する意識の高揚と円滑な学校生活の推進に努める。	A	A	B	A				
		教育相談を教育活動の中に生かし、生徒の自発性と自主性を尊重し、自己解決能力を育成する。	A	A	B	A				
1学年	(1) 基本的生活態度の確立 (2) 基礎学力の向上 (3) 進路に対する関心を高める	健康的で規則的な生活を心がけさせ、勤怠、服装容儀及びスマートフォンの使用のマナー指導の指導を徹底する。	A	A	A	A	A	・家庭学習としてClassiの活用を呼びかけているが、取り組み状況が今ひとつである。次年度も粘り強い声かけが必要かと思われる。 ・次年度は1学期の計画を見直し、早期の進路指導に対応する予定である。	A	・部活動も頑張ってもらいたいが進路面にも強い関心を持ち、早めの目標設定と行動開始をしてほしい。 ・家庭学習の課題と各自が考えて選択できるような取組の見直しと改善が必要。
		家庭学習の定着を図り、学業と部活動の両立に努める。	B	A	A	A				
		「進路のしおり」やキャリアパスポート等の活用を通して自己理解を図り、文理選択を見据えた早期の進路決定を促す。	A	A	B	A				
2学年	(1) 基本的生活習慣の確立 (2) 進路の早期決定 (3) 自主学習習慣を確立	規範意識を高め、学習環境の整備を促し、勤怠・服装容儀指導を徹底する。	A	A	A	A	A	学業と部活動の両立している項目で総合評価Bとなっている。 特に生徒と保護者からの評価が低い、改善策として新年度初めに中堅学年としての意識付けの高揚を早期にはかっしていきたい。 具体的には学年集会等で進路部、各教科(特に5教科)世話係等を活用し、日々の学校生活、休日での学習時間の確保等の共通認識をはかっていく。	A	・部活動でも中心的な立場であるが、学業と部活動の両立に頑張ってもらいたい。 ・家庭学習時間の確保等の課題の認識の共有に加えて、学習内容の質の向上を意識づけるには、自分で考える習慣をつけさせるべきである。
		進路情報の定期的な提供を行い、面談等を通して生徒・保護者と共通理解を図り進路意識を高める。	B	A	A	A				
		学業と部活動の両立に努めさせ、家庭学習を励行し、自主学習習慣を確立する。	A	B	B	B				
3学年	(1) 主体的学習態度の確立 (2) 進路の決定 (3) 社会性の育成	基本的生活習慣を確立させ、好ましい学習環境作りに努める。	A	A	A	A	A	基本的生活習慣、学習環境は改善する必要が多々見られた。時間を守る事や取り組む事に責任を持つ事を十分に伝えていきたい。今回基本的生活習慣の乱れはコロナ禍のある意味自由な生活が影響している事が考えられる。平時に戻った今、当たり前の学校生活のあり方を十分に指導していきたい。	A	・生徒達には卒業後を見据えて社会人としての心構えも勉強してほしい。 ・基本的生活習慣の改善には、行動の裏付け、理由を考えさせてほしい。
		家庭学習、課外講座、模擬試験、資格・検定の取得を奨励し、個々の第一希望を踏まえ、適正に応じた進路指導を行う。	A	A	A	A				
		公共心の育成を図り、互いの人格を尊重し、より良い人間関係を築くことを目的としたHR経営を行う。	A	A	A	A				
学習 学校行事	観点別学習状況の評価の実施	評価規準の共通理解を図り、学びに活かす評価を実施する。	A	A	B	A	A	各教科の「観点別学習状況の評価」の基準や方法等を共有し、適切な評価方法について研究を推進する。	A	・学校行事等を生徒が主体的に行っていることは大変頼もしい。 ・生徒の主体性を育む学校行事は、今後の人生で役立つ経験となる。学習とのメリハリをつけて実施してほしい。
	授業改善	ICT等を活用し、「わかる授業」の実践を推進する。	A	A	B	A				
	主体性の育成	生徒の主体性を育成するため、各種学校行事を生徒とともに作り上げる。	A	A	A	A				
人権	人権意識の高揚	研修や講演会等を通しての人権意識の高揚を図る。	A	A	A	A	A	部活顧問会を中心に、望ましい指導の在り方等について継続的に研修を実施する。	A	部活動は人権目にも配慮しながら、単利時間集中で頑張ってもらいたい。
	体罰・暴言等の根絶	不適切な指導へ迅速な対応を行う。	A	A	B	A				

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・観点別学習状況の評価の改善を行い、指導と評価の一体化が図られるよう努める。
- ・学校からの情報発信に努め、開かれた学校を目指す。
- ・自学自習の習慣が定着するよう各教科の課題の量等を調整する。
- ・部活動を通して得られる生徒の人的成長を重視し、暴力・暴言等の撲滅に務める。

	令和6年度学校評価アンケート結果 教職員(n=58)	よくあては まる…4	ややあて はまる…3	あまりあて はまらない…2	まったくあ てはまらない…1	平均	評価
教務	学校は、教科学習をする上で十分に授業時数を確保している。	48.3%	41.7%	8.3%	0.0%	3.5	A
	学年会や部会及び教科会は円滑かつ計画的におこなっており、職員会議等は、情報交換と課題検討の場として機能している。	40.0%	55.0%	3.3%	0.0%	3.4	A
	学校は地域に開かれており、保護者と協力的な関係で教育活動を行うことができて	35.0%	58.3%	5.0%	0.0%	3.3	A
	いる。						
	校務遂行上必要なデータは、ルールに則って適切に管理されており、効率化が図ら	53.3%	38.3%	6.7%	0.0%	3.5	A
生徒指導	れている。						
	本校の教育課程(類型制・選択科目制)は、生徒の興味関心、進路に応じて適切に	25.4%	59.3%	13.6%	0.0%	3.1	B
	編成されている。						
進路	私たちは、生徒が気持ちよく学校生活を送れるよう、全職員共通理解のもと服装・礼	30.0%	58.3%	10.0%	0.0%	3.2	A
	儀マナー指導を通し、生徒の規範意識を高めている。						
	私たちは、講演会等を通して生徒の危機管理意識や交通安全への意識を高め、自	55.0%	41.7%	1.7%	0.0%	3.6	A
図書情報	らの身を守る力を育成している。	40.0%	48.3%	8.3%	1.7%	3.3	A
	私たちは、各学年での進路意識に応じた目標設定を行わせることにより、生徒の自	26.7%	61.7%	10.0%	0.0%	3.2	A
	学する力を育成している。						
環境保健	私たちは、実力テスト等の結果分析やClassi等を活用し、生徒の到達目標に応じた	32.2%	57.6%	8.5%	0.0%	3.2	A
	情報を提供している。						
	私たちは、HR担任と連携し進路講演会等での学習を通して、生徒の自分の生き方	33.3%	58.3%	6.7%	0.0%	3.3	A
	(キャリア)を考える力を育成している。						
図書情報	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	56.7%	40.0%	1.7%	0.0%	3.6	A
	視聴覚機材は適切に整備され、利用しやすい環境が整えられている。	53.3%	43.3%	1.7%	0.0%	3.5	A
	校内ネットワークやICT機器は適切に管理・運用され、職員の校務が円滑に行われ	65.0%	33.3%	0.0%	0.0%	3.6	A
	るよう整えられている。						
1学年 (対象学年のみ 回答)	ホームページの活用により学校の情報が適切に発信されている。	66.1%	28.8%	3.4%	0.0%	3.7	A
	私たちは、生徒の学習環境の整備・充実を図り、校内の緑化及び美化を推進してい	53.3%	43.3%	1.7%	0.0%	3.5	A
	る。						
2学年 (対象学年のみ 回答)	私たちは、生徒の健康面・安全面の対応をしっかりと行っている。	63.3%	33.3%	1.7%	0.0%	3.7	A
	私たちは、個に応じた健康相談活動の充実と支援体制の確立に努め、多様な生徒	55.9%	39.0%	3.4%	0.0%	3.5	A
	への対応と学習支援の充実に務めている。						
3学年 (対象学年のみ 回答)	私たちは、凡事徹底(規則正しい生活、身なり、マナー)を通して、生徒の自己管理	37.0%	48.1%	7.4%	0.0%	3.4	A
	能力を高めている。						
	私たちは、生徒が学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間の	34.6%	46.2%	11.5%	0.0%	3.3	A
学習	バランスを考慮している。	16.0%	52.0%	24.0%	0.0%	2.9	B
	私たちは、将来の職業を見据えた文理選択の機会を通し、生徒の主体的にキャリア						
	プランを考える力を育成している。						
2学年 (対象学年のみ 回答)	私たちは、凡事徹底(あいさつ、整理整頓、身なり)を通して、生徒の自己管理能力	29.6%	63.0%	0.0%	0.0%	3.3	A
	を高めている。						
	私たちは、進路指導部と連携して、生徒の主体的な進路選択する力を育成してい	32.1%	53.6%	7.1%	0.0%	3.4	A
3学年 (対象学年のみ 回答)	る。	32.1%	46.4%	10.7%	3.6%	3.1	B
	私たちは、生徒が学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間の						
	バランスを考慮している。						
1学年 (対象学年のみ 回答)	私たちは、凡事徹底を実践し、生徒の自己管理能力を育成している。	36.4%	51.5%	6.1%	0.0%	3.3	A
	私たちは、進路指導部と連携して生徒の主体的な進路選択する力を育成している。	54.5%	39.4%	0.0%	0.0%	3.6	A
	私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の健全な社会性を育	45.5%	42.4%	6.1%	0.0%	3.4	A
学習	成している。						
	私たちは、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について生徒に説明してい	41.7%	53.3%	3.3%	0.0%	3.4	A
	る。						
学習	私たちは、ICTを活用するなどして授業内容をわかりやすく工夫し、生徒の学習に関	49.2%	47.5%	1.7%	0.0%	3.5	A
	する質問や相談に丁寧に応えている。						
	私たちは、生徒の主体性の育成を目指し、生徒と一緒に学校行事を作り上げてい	48.3%	45.0%	5.0%	0.0%	3.4	A
人権	る。						
	私たちは、生徒に対する人権意識の高揚を図るため、適宜職員研修を行っている。	57.6%	40.7%	0.0%	0.0%	3.6	A
人権	私たちは、職員や部活動指導者による生徒への体罰及び大声による恫喝、人格を	66.7%	31.7%	0.0%	0.0%	3.7	A
	否定する不適切な指導実態を速やかに把握できる対応を行っている。						

	令和6年度学校評価アンケート結果 生徒(n=871)	よくあては まる…4	ややあて はまる…3	あまりあて はまらない…2	まったくあ てはまらない…1	平均	評価
教務	本校は、学習をする上で十分に授業時数が確保されている。	61.8%	32.2%	4.8%	1.1%	3.6	A
	本校の教育課程(類型制・選択科目制)は、私たちの興味関心、進路に応じて編成されている。	45.5%	44.4%	7.9%	2.2%	3.4	A
生徒指導	学校は、私たちが気持ちよく学校生活を送れるよう、共通理解のもと服装・礼儀マナー指導を通し、私たちの規範意識を高めている。	48.4%	41.0%	8.6%	2.0%	3.4	A
	学校は、講演会等を通して私たちの危機管理意識や交通安全への意識を高め、自らの身を守る力を育成している。	45.5%	44.4%	7.9%	2.2%	3.7	A
	学校は、生徒会行事等を通し私たちの自立する力を育成する活動の支援をしてくれている。	48.4%	41.0%	8.6%	2.0%	3.5	A
進路	学校は、各学年での進路意識に応じた目標設定を行わせることにより、私たちの自学する力を育成している。	65.7%	31.3%	2.2%	0.8%	3.5	A
	学校は、実力テスト等の結果分析やClassi等を活用し、私たちの到達目標に応じた情報を提供している。	48.4%	41.0%	8.6%	2.0%	3.5	A
	学校は、進路講演会等での学習を通して、私たち自身の生き方(キャリア)を考える力を育成している。	65.7%	31.3%	2.2%	0.8%	3.5	A
図書情報	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	55.6%	38.3%	4.8%	1.2%	3.6	A
	学校の視聴覚機材は適切に整備され、授業で利用しやすい環境が整えられている。	65.7%	31.3%	2.2%	0.8%	3.5	A
	ホームページの活用により学校の情報が適切に発信されている。	55.6%	38.3%	4.8%	1.2%	3.5	A
環境保健	学校は、私たちの学習環境の整備・充実を図り、校内の緑化及び美化を推進している。	51.0%	42.6%	5.4%	0.9%	3.6	A
	学校は、私たちの健康面・安全面の対応をしっかり行っている。	55.6%	38.3%	4.8%	1.2%	3.6	A
	学校は、個に応じた健康相談活動の充実と支援体制の確立に努め、多様な生徒への対応と学習支援にきめ細かく対応している。	51.0%	42.6%	5.4%	0.9%	3.5	A
1学年 (対象学年のみ 回答)	学校は、凡事徹底(規則正しい生活、身なり、マナー)を通して、私たちの自己管理能力を高めている。	54.0%	38.5%	6.4%	1.0%	3.6	A
	学校は、私たちが学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間のバランスを考慮している。	51.0%	42.6%	5.4%	0.9%	3.2	A
	学校は、将来の職業を見据えた文理選択の機会を通し、私たちの主体的にキャリアプランを考える力を育成している。	54.0%	38.5%	6.4%	1.0%	3.5	A
2学年 (対象学年のみ 回答)	学校は、凡事徹底(あいさつ、整理整頓、身なり)を通して、私たちの自己管理能力を高めている。	53.8%	41.7%	3.2%	1.1%	3.4	A
	学校は、進路指導部と連携して、私たちの主体的な進路選択する力を育成している。	54.0%	38.5%	6.4%	1.0%	3.5	A
	学校は、私たちが学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間のバランスを考慮している。	53.8%	41.7%	3.2%	1.1%	3.1	B
3学年 (対象学年のみ 回答)	学校は、凡事徹底を実践し、私たちの自己管理能力を育成している。	61.2%	32.7%	4.9%	1.0%	3.5	A
	学校は、進路指導部と連携して私たちの主体的な進路選択する力を育成している。	53.8%	41.7%	3.2%	1.1%	3.6	A
	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、私たちの健全な社会性を育成している。	61.2%	32.7%	4.9%	1.0%	3.6	A
学習	各教科の先生は、年間指導計画や成績評価の方法について私たちに説明している。	50.9%	42.4%	5.4%	1.3%	3.5	A
	先生たちは、ICTを活用するなどして授業内容をわかりやすく工夫し、私たちの学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	61.2%	32.7%	4.9%	1.0%	3.5	A
	先生たちは、生徒の主体性の育成を目指し、私たちと一緒に学校行事を作り上げている。	50.9%	42.4%	5.4%	1.3%	3.5	A
人権	学校は、私たちの人権を守るため、丁寧に対応している。	53.6%	39.7%	5.5%	1.0%	3.6	A
	学校は、職員や部活動指導者による生徒への体罰及び大声による恫喝、人格を否定する不適切な指導実態を速やかに把握できる対応を行っている。	50.9%	42.4%	5.4%	1.3%	3.5	A

	令和6年度学校評価アンケート結果 保護者 (n=216)	よくあては まる…4	ややあて はまる…3	あまりあて はまらない…2	まったくあ てはまらない…1	平均	評価
教務	本校は、学習をする上で十分に授業時数が確保されている。	45.6%	50.7%	3.3%	0.5%	3.2	A
	学校は地域に開かれており、保護者と協力的な関係で教育活動を行うことができている。	19.6%	65.4%	15.0%	0.0%	2.9	B
	本校の教育課程(類型制・選択科目制)は、生徒たちの興味関心、進路に応じて編成されている。	27.0%	62.8%	9.8%	0.5%	3.1	B
生徒指導	学校は、子どもたちが気持ちよく学校生活を送れるよう、共通理解のもと服装・礼儀マナー指導を通し、私たちの規範意識を高めている。	37.2%	58.1%	4.7%	0.0%	3.3	A
	学校は、講演会等を通して子どもたちの危機管理意識や交通安全への意識を高め、自らの身を守る力を育成している。	31.2%	60.5%	7.9%	0.0%	3.1	B
	学校は、生徒会行事等を通して子どもたちの自立する力を育成する活動の支援をしてくれている。	35.3%	56.7%	6.5%	0.9%	3.2	A
進路	学校は、各学年での進路意識に応じた目標設定を行わせることにより、子どもの自学する力を育成している。	26.0%	60.5%	12.6%	0.5%	3.1	B
	学校は、実力テスト等の結果分析やClassi等を活用し、子どもの到達目標に応じた情報を提供している。	27.1%	57.0%	13.1%	2.3%	3.2	A
	学校は、進路講演会等での学習を通して、子ども自身の生き方(キャリア)を考える力を育成している。	23.4%	61.7%	13.6%	0.9%	3.0	B
図書情報	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	26.7%	58.1%	12.9%	1.9%	2.7	B
	学校の視聴覚機材は適切に整備され、授業で利用しやすい環境が整えられている。	21.5%	63.2%	12.9%	1.9%	2.4	B
	ホームページの活用により学校の情報が適切に発信されている。	30.0%	51.6%	16.4%	1.4%	3.1	B
環境保健	学校は、子どもたちの学習環境の整備・充実を図り、校内の緑化及び美化を推進している。	30.2%	63.3%	6.0%	0.0%	3.4	A
	学校は、子どもたちの健康面・安全面の対応をしっかりと行っている。	31.8%	62.1%	5.1%	0.5%	3.2	A
	学校は、個に応じた健康相談活動の充実と支援体制の確立に努め、多様な生徒への対応と学習支援にきめ細かく対応している。	22.5%	62.0%	14.1%	0.9%	2.9	B
1学年 (対象学年のみ 回答)	学校は、凡事徹底(規則正しい生活、身なり、マナー)を通して、子どもの自己管理能力を高めている。	33.0%	58.0%	7.0%	1.0%	3.4	A
	学校は、子どもが学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間のバランスを考慮している。	23.2%	58.9%	16.8%	0.0%	3.1	B
	学校は、将来の職業を見据えた文理選択の機会を通し、子どもの主体的にキャリアプランを考える力を育成している。	26.3%	57.9%	14.7%	0.0%	3.1	B
2学年 (対象学年のみ 回答)	学校は、凡事徹底(あいさつ、整理整頓、身なり)を通して、子どもの自己管理能力を高めている。	31.8%	55.3%	11.8%	0.0%	3.3	A
	学校は、進路指導部と連携して、子どもの主体的な進路選択する力を育成している。	19.0%	56.0%	23.8%	0.0%	3.2	A
	学校は、子どもが学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間のバランスを考慮している。	25.3%	56.6%	15.7%	1.2%	3.1	B
3学年 (対象学年のみ 回答)	学校は、凡事徹底を実践し、子どもの自己管理能力を育成している。	20.5%	63.6%	13.6%	0.0%	3.9	A
	学校は、進路指導部と連携して子どもの主体的な進路選択する力を育成している。	27.3%	59.1%	11.4%	0.0%	3.8	A
	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、子どもの健全な社会性を育成している。	24.4%	62.2%	8.9%	2.2%	4.0	A
学習	各教科の先生は、年間指導計画や成績評価の方法について子どもに説明している。	22.0%	62.8%	12.6%	2.1%	2.7	B
	先生たちは、ICTを活用するなどして授業内容をわかりやすく工夫し、子どもの学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	19.2%	64.2%	15.0%	1.0%	2.6	B
	先生たちは、子どもの主体性の育成を目指し、子どもたちと一緒に学校行事を作り上げている。	32.0%	59.8%	7.2%	0.5%	3.3	A
人権	学校は、子どもたちの人権を守るため、丁寧に対応している。	32.7%	59.7%	7.1%	0.0%	3.4	A
	学校は、職員や部活動指導者による子どもへの体罰及び大声による恫喝、人格を否定する不適切な指導実態を速やかに把握できる対応を行っている。	32.8%	57.3%	7.8%	1.6%	2.9	B